ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西自然保護機構会誌

25巻2号（通算46号）

シンポジウム●深泥池の現状と課題



2003年12月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

「深泥池のミツガシワ」

写真・文　成田　研一

深泥池の春は，ミツガシワの白い花のじゅうたんで始まる。ミツガシワは，氷期の遺存種で，現在では北半球の亜寒帯や亜高山帯の湿地に主に分布している。京都のような温暖な地で，しかも市街地に接した平地の池で生き残り大群落をつくっているのは大変珍しいと言われる。

深泥池では浮島周辺だけでなく，地下茎の絡み合った筏状の集団が切れて各所に流れ着き生育域を広げている。池の西側や南側の岸辺でも広く繁殖しているので，手で触れて観察することができる。

この花には，雄しべが長く雌しべの短いＳ型と，雄しべが短く雌しべの長いＬ型があり，ハナアブやハナバチ類が訪れる。結実率は良く，種子は多くできる。しかし，発芽率は良くなくシャーレ上でも数％で，池周辺でも地下茎による栄養繁殖は盛んであるが実生苗を見ることはない。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organazation for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。